



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月5日

上場会社名 株式会社アイロムグループ 上場取引所 東  
コード番号 2372 URL <https://www.iromgroup.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 豊隆  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 犬飼 広明 (TEL) 03 (3264) 3148  
経営管理・人事労務センター担当  
半期報告書提出予定日 2024年11月6日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	8,830	1.7	85	△89.1	△75	-	△65	-
2024年3月期中間期	8,678	△10.0	790	△67.2	1,225	△51.1	1,092	△44.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △126百万円 (-%) 2024年3月期中間期 1,169百万円 (△44.0%)

	1株当たり 中間純利益
	円 銭
2025年3月期中間期	△5.41
2024年3月期中間期	90.22

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	35,314	12,641	35.8
2024年3月期	37,148	12,772	34.4

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 12,641百万円 2024年3月期 12,772百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	40.00	-	0.00	40.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-

(注) 2024年5月13日付「MB0の実施予定及び応募の推奨に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、ビー・エックス・ジェイ・ビー・ツー・ホールディング株式会社（以下「公開買付者」という。）による当社の発行済普通株式（以下「当社株式」という。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」という。）及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることから2025年3月期の配当予想は記載しておりません。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

2024年5月13日付「MB0の実施予定及び応募の推奨に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることから2025年3月期の業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	12,338,365株	2024年3月期	12,338,365株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	232,718株	2024年3月期	230,993株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	12,106,734株	2024年3月期中間期	12,107,537株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### 経営成績に関する説明

当社グループは、創業以来の中核事業であるSMO事業及びCRO事業の拡大を推進するとともに、グループ戦略として、SMO事業及びCRO事業で創出される資金を原資として、先端医療事業及び創薬事業における医薬品や先端医療技術の開発、メディカルサポート事業のノウハウを活かした設備投資等を行うことで、各事業の事業基盤を強化し、多様化・高度化する市場の要求に応えることができる製品・サービスの品質向上及び研究開発力の強化を実現しています。

引き続き変革と革新に取り組み、グループシナジーをさらに拡大し競争優位性を高めることで、さらなる飛躍に向けた中長期的な企業価値の向上にも取り組んでいます。

SMO事業においては、引き続き基幹病院との提携拡大及びがんや難治性疾患を含むあらゆる疾患領域の試験の受託が可能な体制の構築を推進することにより、安定した収益基盤を構築しています。2025年3月期においては、下期に複数の短期収益型大型案件の開始を予定しており、各試験の円滑な実施に向けて準備を進めています。また、医薬品開発を取り巻く環境の変化及び複雑化・高度化する臨床試験に迅速かつ柔軟に対応するため、より高度な人材教育の体制構築を推進するとともに、採用強化により人員拡大にも注力しており、事業基盤のさらなる拡充を進めています。

CRO事業においては、海外の臨床試験実施施設における新規試験の受託が堅調に推移し、業績が大きく拡大しています。国内事業においてもアカデミアをはじめとした新規試験の受託の推進に加え、受託業務の拡大や統計解析分野のさらなる強化により企業治験の受託拡大にも取り組んでいます。

先端医療事業及び創薬事業においては、当社グループの各パイプラインの開発を推進しており、実施中の臨床試験が順調に進捗しています。当セグメントでは、臨床試験をはじめとする研究開発にかかる経費が引き続き発生しておりますが、ライセンス事業や化粧品の販売及びOEM事業などの当セグメントにおける各事業の推進により収益の改善を図っています。

その結果、当中間連結会計期間においては、売上高は8,830百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は85百万円(前年同期比89.1%減)、経常損失は75百万円(前年同期は経常利益1,225百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は65百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益1,092百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① SMO事業

当セグメントにおきましては、引き続きアンメット・メディカル・ニーズの高いがんや難治性疾患等の疾患領域の開発が増加しているため、専門医療センターや大学病院等の基幹病院との提携を拡大し、あらゆる疾患領域の試験の受託が可能な体制構築を推進しています。一方で、がんや難治性疾患等の試験と比較して1試験当たりの規模が大きいプライマリー領域の試験の受託も推進しており安定した収益基盤を構築しています。2025年3月期においては、下期に複数の短期収益型大型案件の開始を予定しており、各試験の円滑な実施に向けて準備を進めています。

また、医薬品・医療機器等の開発はグローバル化や開発期間の短縮化が進むとともに、開発手法の変化により臨床試験に対するニーズの多様化が続いています。当社グループのSMO事業では、医薬品開発を取り巻く環境の変化及び複雑化・高度化する臨床試験に迅速かつ柔軟に対応するため、より高度な人材教育の体制構築を推進するとともに、採用強化により人員拡大にも注力することで、事業基盤のさらなる拡充に取り組んでいます。

その結果、売上高は4,301百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は1,426百万円(前年同期比31.7%減)となりました。

#### ② CRO事業

当セグメントにおきましては、日本・オーストラリア両国にて保有する臨床試験実施施設において、欧米や日本を含むアジア・オセアニア地域の製薬企業等の早期段階の医薬品開発を支援しています。また、国内において、国内外の製薬企業の臨床試験や申請業務等の支援を行うとともに、医師主導治験や臨床研究の支援を行っています。

当中間連結会計期間においては、海外の臨床試験実施施設における新規試験の受託が堅調に推移し、業績が大きく拡大しています。国内事業においてもアカデミアをはじめとした新規試験の受託の推進に加え、受託業務の拡大や統計解析分野のさらなる強化により企業治験の受託拡大にも取り組んでいます。

一方で、国内事業における受託予定の新規試験において、治験依頼者による開始時期の見直し等が発生したことにより、実施時期が後ろ倒しとなりました。

その結果、売上高は3,419百万円(前年同期比22.1%増)、営業損失は41百万円(前年同期は営業利益66百万

円)となりました。

③ 先端医療事業

当セグメントにおきましては、COVID-19ワクチンの開発において、第I相臨床試験を実施しています。

また、iPS細胞作製キット「CytoTune-iPS」のライセンス事業を推進しており、基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いた新たな事業機会の創出に取り組んでいます。

当セグメントでは、新しい医薬品・医療技術の研究開発に注力しており、その経費が引き続き発生しておりますが、ライセンス事業や化粧品の販売及びOEM事業などの当セグメントにおける各事業の推進により収益の改善を図っています。

なお、ライセンス事業において前年同期に海外大手製薬企業とのライセンス契約に基づく契約一時金等の計上があったことから、前年同期比では売上高が減少しセグメント損失が増加しています。

その結果、売上高は597百万円(前年同期比32.4%減)、営業損失は101百万円(前年同期は営業損失20百万円)となりました。

④ 創薬事業

当セグメントにおきましては、海外の大手製薬企業とのライセンス契約に基づき、バイオシミラーの国内共同開発を進めています。

バイオシミラー開発は、国際共同第III相試験を実施中であり、2027年度の上市を目指し開発を進めています。また、実施中の臨床試験だけでなく、様々な可能性の検討にも取り組んでおり、それらの開発費用が発生しています。

その結果、営業損失は229百万円(前年同期は営業損失367百万円)となりました。

⑤ メディカルサポート事業

当セグメントにおきましては、開発事業者や不動産会社などと連携して、駅からのアクセスや地域の医療機関の需要など、様々な条件を満たす主に新築の物件を厳選してクリニックモールを開設しています。また、クリニックモールでの開業を検討する医師に対して開業支援を手がけるとともに、開業後の医療機関に臨床試験を紹介するなどその経営を多角的に支援しており、収益を確保しています。

その結果、売上高は506百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は95百万円(前年同期は営業損失39百万円)となりました。

⑥ その他

当セグメントにおきましては、上記以外の事業等により、売上高は4百万円(前年同期比97.8%減)、営業損失は95百万円(前年同期は営業損失25百万円)となりました。

(注)売上高は外部取引のみの合計であり、セグメントの営業利益は、セグメント間の内部取引による利益を含んだ合計であります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,236	7,270
売掛金	4,464	3,594
商品及び製品	80	82
仕掛品	297	341
原材料及び貯蔵品	347	341
短期貸付金	634	512
預け金	1,432	1,436
その他	1,333	1,098
貸倒引当金	△383	△382
流動資産合計	15,442	14,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,239	7,341
工具、器具及び備品(純額)	1,944	996
機械装置及び運搬具(純額)	916	1,222
土地	2,528	2,528
建設仮勘定	3,094	2,905
有形固定資産合計	15,723	14,993
無形固定資産		
のれん	841	778
その他	46	84
無形固定資産合計	887	862
投資その他の資産		
投資有価証券	2,238	2,064
長期貸付金	234	269
差入保証金	1,473	1,483
繰延税金資産	15	85
その他	1,132	1,257
投資その他の資産合計	5,094	5,161
固定資産合計	21,705	21,018
資産合計	37,148	35,314

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	647	437
短期借入金	6,360	6,360
1年内返済予定の長期借入金	2,346	2,046
未払法人税等	316	217
契約負債	542	624
リース債務	208	210
その他	2,094	1,877
流動負債合計	12,515	11,774
固定負債		
長期借入金	9,756	8,753
繰延税金負債	—	12
資産除去債務	147	148
預り保証金	390	391
退職給付に係る負債	162	161
リース債務	1,291	1,184
その他	111	247
固定負債合計	11,860	10,898
負債合計	24,375	22,673
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,899	3,899
資本剰余金	1,495	1,495
利益剰余金	7,604	7,539
自己株式	△424	△429
株主資本合計	12,574	12,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140	62
為替換算調整勘定	57	74
その他の包括利益累計額合計	197	137
純資産合計	12,772	12,641
負債純資産合計	37,148	35,314

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	8,678	8,830
売上原価	4,862	5,428
売上総利益	3,816	3,401
販売費及び一般管理費		
役員報酬	253	256
給料手当及び賞与	1,214	1,441
賃借料	241	368
研究開発費	242	137
その他	1,073	1,112
販売費及び一般管理費合計	3,025	3,316
営業利益	790	85
営業外収益		
受取利息	8	18
受取配当金	0	0
為替差益	511	—
有価証券運用益	—	80
受取賃貸料	107	149
その他	69	105
営業外収益合計	697	355
営業外費用		
支払利息	85	103
為替差損	—	188
有価証券運用損	56	—
賃貸収入原価	91	158
その他	29	66
営業外費用合計	263	516
経常利益又は経常損失(△)	1,225	△75
特別利益		
固定資産売却益	193	128
特別利益合計	193	128
特別損失		
固定資産除却損	3	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前中間純利益	1,414	52
法人税、住民税及び事業税	280	141
法人税等調整額	41	△24
法人税等合計	322	117
中間純利益又は中間純損失(△)	1,092	△65
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	1,092	△65
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△0	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78	△77
為替換算調整勘定	△1	16
その他の包括利益合計	77	△60
中間包括利益	1,169	△126
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,169	△126
非支配株主に係る中間包括利益	△0	—



(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。